十夕九日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘威
印刷人
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

爭議も既にすんだから 重刑を課す要はない
小泉檢事の穏やかな論告
けふ騒擾事件の公判

日本坑夫組合支部員の磐炭會襲撃事件の公判は十九日午前十時平區裁判所で千葉判事係り小泉檢事立會東京、三輪、麻生二辯護士並に平町から眞木辯護士の三氏出廷列席の上開廷、既報の被告十八名の外新たに起訴された關根喜四郎(二五)證人蒲生某の取調べを行つて訊問を終ね、小泉檢事は

本件は二月九日午前五時半から六時までの間に於て坑夫組合員百二十名乃至百五十名が磐炭會本部を襲撃した騒擾事件で此の種の事件は檢擧が容易でなく、百十名が襲撃した事は事實なのだから豫審にでも附して徹底的に取調ぶれば過般罰金刑に處した者を合し四十三名位の檢擧者に止まらずまだ〳〵檢擧さるゝ者が出るのは明かであるが、被告同志の陳述により證據充分と認めた者のみを檢擧し、而も一人の檢事が取調べたゞけではなく意見の相違があつてはならぬと福島地方裁判所の佐藤檢事と二重に取調べをなし、確實な證據のある者のみを起訴したわけである。騒擾罪は刑法により懲役六ケ月以上と定められてゐるが、事件は偶發的であり而も今日では爭議は終了してゐるのであるから重い刑を課す要はない。たゞ大和田金二郎(三〇)は窃盗罪との併合罪であるから特別である

と穏やかな論告をなし左の如く求刑して正午休憩した。午後一時から三輪、麻生、眞木三辯護士の減刑論がある筈である。

◎求刑

▲懲役四年大和田金二郎(三〇)▲懲役十ケ月高梨二夫(三二)▲懲役六ケ月田中利勝(三一)葛西留五郎(四〇)齋藤岩吉(三〇)作山喜代治(三三)長谷川忠藏(二六)坪内又次郎(二〇)西村三右衛門(三七)川合勇(二四)加藤木誠一郎(二九)關塚倉吉(三九)佐藤養吉(三八)廣瀬幸太郎(三〇)菅野明守(二二)黒澤市之助(二四)小原文太郎(三九)鈴木金吾(二七)

櫻花の四月十八日 聯合消防檢閲
優良消防手を表彰
藏重警察長が檢閲

平警察署管内二十二ケ町村消防組合會は十八日午前十時から平警察署樓上に開き平井上茂作、小名濱小濱長太郎、江名加澤一造、豊間志賀兼吉、高久鈴木喜太郎、夏井窪矢吹豊、内郷山崎米太郎、平赤井松本金治、上小川草野政壽、三阪永山久助、澤渡平山藤吉、永戸合津保見、箕輪遠藤齊、磐崎若松惣太郎、鹿島佐藤米治等各氏出席、二十二ケ町村聯合春期消防檢閲を櫻花の盛り四月十八日擧行する事に決定したが當日は管内消防手約一千余名は平署前から本町通りに整列し藏重警察部長の服装点檢を受けその儘平町八幡小路舊磐中グランドに集合各村別に操練を行ふ筈で當日は又優良組員百余名を表彰す可く目下人選中である。

▲四倉管内組頭會　四倉警察署管内消防組頭會は二十一日午前十時同町海盛座に開き春期消防檢閲期日方法について協議する。

坑夫組合 常磐聯合會
あす發會式

日本礦夫組合常磐地方聯合會發會式は既報の如く二十日午後三時から平劇場に開催する筈で發會式後直ちに勞働問題演説會に移り、左の各氏熱辯を揮ふ筈である。

▲日本礦夫組合本部麻生久▲全日本農民組合田所照明▲日本礦夫組合本部關家博▲日本勞働組合同盟與謝野讓

▲會議規則講習　平青年團主催會議規則講習會は三月二十二日午後七時から磐城銀行内に開き伏見平町長の講義がある筈であるが、團員以外の聽講も歡迎するとの事。

平産婆看護婦學校の 盛大な增築落成式

平町南町平看護婦學校第二十回の卒業式は十八日午後三時同校新築校舍内で擧行、清野校長の挨拶後卒業生、産婆科二十名、看護科三十五名に證書を授與し、次いで校長の告辭ありて閉式、後直ちに校舍增築落成式に移り清野校長の式辭、伏見町長、平細菌檢査所狩野技師、川崎文治各氏の祝辭、職員代表新妻由五郎氏の告辭、生徒代表高津トクの答辭ありて式を閉ぢ終つて記念撮影をなし祝宴を張つて散會した。同校は明治四十五年三月草野村渡邊寅次郎氏が私立平産婆看護婦講習所として開所し大正三年五月泉村の現校長清野キヨ女史が引受けて所長となり大正十二年三月私立平產婆看護婦學校と改稱、その後社會の進化と共に生徒增加し校舍狹隘を告げ昨年九月第二校舍を增築す、創立後十六年間に卒業生を出す事七百余名に達す。

漁期も近づいて 準備を急ぐ大敷網
江名、豊間の競爭が見物

豊間村大敷網はそろ〳〵漁期も近づいて來たので十七日新潟縣から漁夫百二十名が來濱し目下網下しの準備を急いでゐるが、四月二十日頃から漁業を開始する事になつたが、本年からは江名、小名濱共同村の共願で許可された江名町大字下神白網取岬にも大敷網を開始する筈であるから兩者の消長浮沈は如何に變化するか一般から注目されてゐる。

驛長交迭

平驛長　新利雄　任小山驛長
池袋驛長　豊崎治助　任平驛長
湯本驛長　岡井善太郎　任下館驛長
綴驛長　武田市之助　任高萩驛長
高萩驛長　律枝信勝　任綴驛長
磯原驛長　渡邊初吉　任湯本驛長
平驛助役　谷津義一　任寺内驛長

赤井村の火事
小兒の弄火から

石城郡赤井村西小川字舘農西山直次方から十七日午後四時廿分頃發火し廐を全燒し本屋倉庫を半燒して同五時十分鎭火した、原因は同家養女ちい子(六つ)の弄火からで損害取調中。

平署員の喜び
―爭議の慰勞金

十七日午後平署に一束の信書が到着したので窓口の渡邊部長が開封したるに過般の磐炭爭議に就ての表彰狀と慰勞金給與辭令閻魔顔の警官連も奥齒の三枚目から相格を崩して喜んだ、それも其の筈、最高二圓位の捕賊賞與などとは異つて今回は巡查最低三圓から五圓迄、巡查部長四圓から八圓迄、警部補十圓から十二圓迄、平署創立以來のレコードで留守番殘留者も隈なく均霑された、樫村署長には感謝狀だけ到着したが此れも近日中に賞與が來る筈でこれで梅見の費用に事缺かぬことと保證請合。

皇室主義の 青年分團

石城郡好間村第一青年團第八分團は小田炭礦地區内の青年五十余名を以て組織し十六日午前十時より古河炭礦好樂館に於て之が發團式を擧げた金成村長は時弊を戒め質實剛健の精神涵養の必要を述べて祝辭をし炭礦役員山野邊覺、吉井要人其他村會議員有志等の祝辭があつた、渡邊本團長は朝見式勅語の聖旨のある處を縷々講演し思想經濟問題に關し其取捨歸嚮を愆らざることを訓諭し團員の演語、余興あり午後四時閉會したが、本分團は青年の自發活動に出でたもので小田炭礦を始め各商店有志家等贊助の下に團服を調製せしむる等多大の後援あり今後團員は擧つて青年訓練所に入る筈で炭礦從業員として最も目醒めたる活動に入るべく外來思想にかぶれざる樣皇室中心主義を標榜し勞資協調の實を擧ぐる方針であると。

荷札付少年 引取希望者

昨朝兄を訪ねて北海道忍路郡塩谷驛から常磐線列車で來平した吉田敬吾(一二)については平署に保護を加へて同人の言ふ兄登を搜索中十七日午後平町紺屋町理髪業吉田濱吉方徒弟となつてゐることが判明し直に引渡したが、本紙の記事を讀んで平署に十八日鹿島及び飯野兩村から二名の男が右少年を引取りたいと願ひ出で係官にかくと聞かされて立歸つたとのことである。

家庭的料理の拵方

杉林多美雄述

一、ブヨン

普通の汁と違い山海の珍味を含む温量が多く臺所の廢物利用が出來ます、先ず獸骨を火氣に依り克く乾燥して俎上に取り庖丁の背にて克くたゝき骨粉になし布の袋に入れ人參玉葱の切端と共に鍋に入れ沸煮して煮出汁を取り鹽胡椒に依り味を付け供します。尚完全に拵るには平素捨てつゝある鍋の焦げ付き又は椀の洗ひ落しの殘飯を篩に取り水氣を切り握り飯にして炭火にて燒握飯にし是も共に骨粉の袋に入れ沸煮させますと本當に味の好い色澤のあるブヨンが得られます。

お斷り

二十日日曜、二十一日春季皇靈祭の兩日本紙休刊仕り候

磐城時報社

◎店員大募集
◎十四才ヨリ十六才迄　五名
◎尋常小學校卒業以上
◎御希望ノ方ハ御來店願升

磐城平町三丁目
電中野呉服店
電話六十七番

▲外事務員一名入用
—簿記の心得ある人
履歴書持參本人申出を乞ふ

◎店員募集
小學卒業程度
十四、五、六才位
御希望の御方は御來談被下度候

平町四丁目
鶴屋商店
電話百四十番

電話四六〇番は
美味で評判の
イワキ食堂
實習日毎月十五日（家庭的料理實習所）

投票用紙
「模擬平市會議員」

セキドメタンキリ
鎭咳祕藥
名醫高木穴山兩博士の遺法に現代醫理上（藥物中の醇良なる元素）を最も有効に合劑し萬人の體質に適ふやう安全に調製したれば如何なる惡性の痰咳も恐るるに足らず效果と共に咽喉を爽快ならしむる無比の貴重藥也

くすりのきせや

▼申込カワセ又は振替▼全國藥店にあり▲
振替東京三五〇七二
本家　東京深川高橋通　比田東元堂

定價一個　廿錢　五十錢　一圓半

○感冒　○咽喉炎　○扁桃腺炎　○氣管支炎　○肺炎　○胸膜炎　○喘息　○百日咳　○小兒咳嗽

主効

特約店　平町四丁目　關内藥局　電話四〇番

產婆看護婦生徒募集

一、入學資格　高等小學校卒業者若くは之と同等の學力あるもの
一、修業年限　兩科を通じて一ケ年
一、申込期日　四月八日限り
詳細は規則書を進呈す

平町壹丁目（電話三五七番）
石城產科婦人看護婦學校
（寄宿自炊の便あり）

生活改善!!!
紋服・丸帶・袴・羽織・喪服
かつぎ等衣類一切扱升
カンセモノ
御婚禮衣裳特に勉强・髮飾・ハコセコ・島臺類一切
冗費節約!!!

ギルフ高價買入
御一報次第ニ伺ヒ升
物・古着・仕立
茗荷屋貸衣裳店
ギルフ　電三一六

醬油と味噌

福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番

上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

婦人病血の道の妙藥

定價壹圓・貳圓・德用五圓

代理店
山野邊藥局
平町五丁目角

平町病醫院案內

外科一般、婦人科
耳鼻咽喉科
惡性醫學士　新妻由五郎
日本醫學士　高橋貢
赤心堂病院
田町　電話四七五

入院隨意
外科專門
上田外科醫院
南町　電一二九

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

大和田醫院
耳鼻咽喉科
平町南町一七〇番

產科婦人科
二月よ一日より　診療開始
產婦人科部長
醫學士　野秋善直
尙は院長菊地博士は毎日午前九時から午後四時迄又何時でも往診します
菊地博士の住所
磐城跡三ノ九（丹後澤）
磐城
共濟病院
◎看護婦至急募集す

模擬市會　市會議員　得票

二〇〇七票　阿部政右衛門氏
二〇〇六票　齋藤英三郎氏

一九九二票　白井一郎氏
一九五〇九票　猪狩庄平氏
一四〇〇票　高橋龜松氏
一三九九票　井上貞次郎氏
一三六〇票　諸橋守次氏
一三五六票　鈴木邦三郎氏
一三四七票　鈴木昌雄氏
一三三〇票　由崎清三氏
一三一三票　馬目雅治氏
一二四七票　小松茂氏
一二二五票　吉田寅之輔氏
一一五票　大森勇氏
一〇六票　萩原義雄氏
一〇一票　千葉彦治氏
一三六票　吉村安次郎氏

一三〇票　柴田德二氏
一二九五二票　山野邊東次郎氏
一二五九票　中野康平氏
一二四九票　鷹崎正見氏
一二四九票　草野順平氏
一二一五票　櫻井清氏
一二〇九票　酒井虎清氏
一二〇一票　三森雄氏
一一九五票　高會精一氏
一一九〇票　中野俊藏氏
一一八〇票　瀧澤甲平氏
一一七五票　佐藤武之氏
一一六九票　木村桓氏
一一六七票　眞壁武之助氏
一一六三票　馬目正次氏
一一五九票　諸橋武氏
一一五六票　由崎德次郎氏
一一五四票　渡邊源吉氏
一一三〇票　緣川喜三郎氏
一一二八票　三井文吉氏
一一二七票　橫山顯氏
一一二五票　木田藤次郎氏
一一二五票　蓮沼龍輔氏
一一二〇票　熊谷謙次郎氏
一一八二票　關内正一氏
一一八〇票　關内喜久次郎氏
一一〇五票　須田甚太郎氏
一〇八〇票　鈴木武雄氏
一〇八九票　保坂總八郎氏
一〇八八票　諸橋元三郎氏
一〇六五票　山田盤麿氏
一〇六二票　海老原章四郎氏
一〇四五票　多沼井笑次郎氏
一〇三六票　原精一氏
一〇三五票　杉本榮一氏
一〇三五票　田卷喜代治氏
一〇三四票　吉田隆藏氏
一〇二九票　坂本

◎（以下略）